

孤高の美術家
一〇七歳の軌跡

TOKO SHINODA EXHIBITION 2020

篠田桃紅作品展 一〇七歳の軌跡

会期:9月17日[木]ー22日[火・祝] <最終日は午後4時閉場>

会場:松山三越 6階特設会場

墨による新たなる表現の可能性を切り拓き、世界を舞台に活躍する孤高の美術家、篠田桃紅氏。1913年旧満州・大連生まれ、107歳。幼少より書に親しみ20代で書家として活躍しますが、既成の書に飽きたらず、文字を解体して墨象という独自のスタイルを確立します。

戦後には表現の自由を追い求めて、世界のアートシーンの中心地ニューヨークへと活躍の場を移し、国際的に高い評価を受け、時代を代表する美術家となります。

本展では、余分なものをすべて削ぎ落とし、一瞬の心のかたちを優美な線や面で表現した抽象作品や手彩色をほどこした版画作品、万葉集や百人一首など、千年の時を経ても変わらぬ日本人のこころを彩った書の作品など、篠田桃紅の両輪となる作品を一堂に展覧いたします。どうぞ、ご高覧ください。

企画協力:ギャラリーサンカイビ
Cooperated by Gallery SanKaiBi



MITSUKOSHI
松山 〒790-8532 松山市一番町3-1-1
TEL/089-945-3111(大代表)



1. 「音」 銀地に墨・銀泥 90×181.2cm



2 「至福」 金地に墨・緑青・銀泥 50×35cm

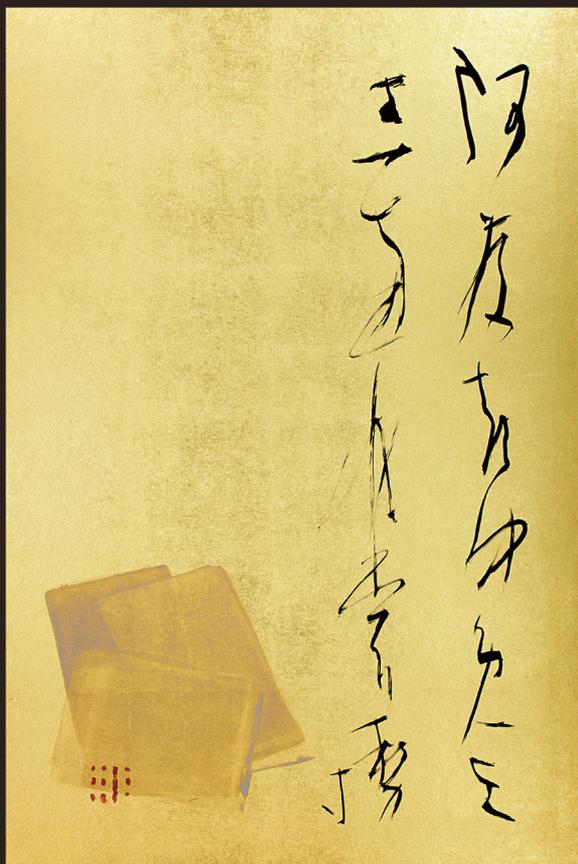
篠田桃紅 TOKO SHINODA

【略歴】1913年旧満州・大連に生まれ、今年3月に107歳を迎えた。幼少より書に親しみ下野雪堂氏に師事。その後、既成の書の形にとられない墨による新たな形を描き出し、1956年単身渡米。国際的に高い評価を受け、時代を代表する美術家となる。東京、ニューヨーク、パリ、ボストン、ローマ、アムステルダムなどの都市で個展。代表作は世界各国の美術館に収蔵されている。

【主要コレクション】メトロポリタン美術館・ボストン美術館・グッゲンハイム美術館・大英博物館・東京国立近代美術館・岐阜県美術館・関市立篠田桃紅美術空間(岐阜県)コンラッド東京・ザ・キャピトルホテル東急(東京)電通本社(東京)・皇居・京都迎賓館・増上寺・明治座・日本銀行帝国劇場・パークハイアット京都 など

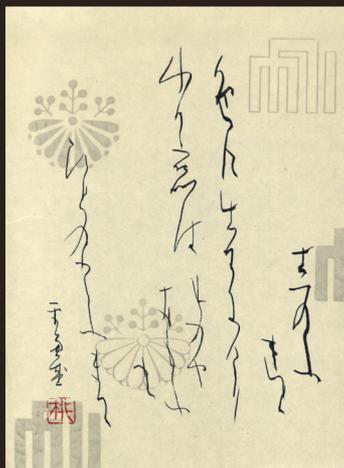


3 「光」 和紙に墨 61×46cm



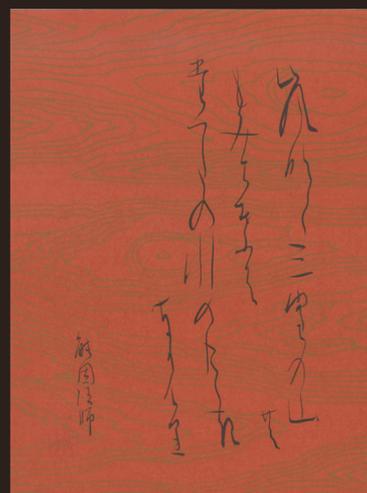
4. いろは歌より「阿散起由免三志恵非裳勢寸」
金地に墨・彩色 80×53cm 2009年

しのぶれど 色に出でにけり わが恋は
物や思ふと 人の問ふまで
平兼盛



5. 百人一首より 平兼盛「しのぶれど…」
料紙に墨 26.8×19.7cm

嵐吹くみ室の山のもみぢ葉は 竜田の川の錦なりけり



6. 百人一首より 能因法師「嵐吹く…」
料紙に墨 26.8×19.7cm

能因法師